

リハビリ・工学連携に関する講演会&森田研見学会の開催

名古屋工業大学森田研究室主催

領域制度を活用した新規研究分野の調査研究

「ライフ・イノベーションのための介護・リハビリ・生活支援技術の研究開発」企画

ライフ・イノベーションが叫ばれる中、他に類を見ない高齢社会の我が国において、QOL（Quality of Life）を高めるための機器開発は不可欠となってきました。国内屈指の工科大である名古屋工業大学が、ライフ・イノベーションに向けて、QOLを高める技術開発を積極的に行う先進的な研究拠点を形成すべく、関係研究者が結集して研究開発体制を構築中です。また、介護・高齢者施設などの関連機関と連携し、さらにリハビリ効果を検証するためにも脳科学など異分野との融合を推進中です。今回は、医工連携を積極的に推進し、リハビリ機器や福祉機器を開発する研究者による講演を開催し、また森田研究室の取組みを研究室見学会を交えながら紹介させていただきます。

日 時：平成23年3月14日（月）13:30～17:00

場 所：名古屋工業大学 6号館11階 大会議室

スケジュール：

13:30～ 森田研究室の研究紹介

14:00～ 講演「頸椎損傷者の就労支援を目的とするパワーグローブの開発」
諸麦俊司氏（長崎大学工学部機械システム工学科 助教）

15:10～ 講演「医工連携による高齢者の身体・認知機能の支援」
田村俊世氏（千葉大学大学院工学研究科メディカルシステムコース 教授）

16:10～ 森田研究室見学

17:00～ 懇親会（同会場にて、会費制）

